

豊田工業大学

〒468-8511 愛知県名古屋市長久方2-12-1 入学試験事務室 TEL 052-809-1716 FAX 052-809-1721 (HP) <https://www.toyota-ti.ac.jp/>

TOPICS

- 世界のTOYOTA（トヨタ自動車）が設立した大学
- 就職決定率は100%（2021年実績）
- 授業料は国公立大学並みの60万円／年（初年度納付金は約98万円）
- 充実の教育・研究環境（学生一人あたりの大学支出額は647万円／年）

■学部・学科組織

- 工学部 先端工学基礎学科100(社会人入試など含む)

大学GUIDE

トヨタ自動車が設立 トヨタ自動車の社会貢献事業の一環として1981年に開学。「企業と創る自立型人材の育成」をめざし、トヨタグループその他各社の支援のもと、産学一体となった教育・研究環境を整備しています。

先端ハイブリッド工学 カリキュラムは「機械システム」「電子情報」「物質工学」の3分野を横断して学ぶことが可能です。工学の統合的な理解を得ることで、複眼的な発想力や問題解決力を養います。

専門分野を決めるのは2年次後期 入学時は専門を決めず3分野の基礎科目を広く学び、2年次後期に専門分野を決められることもカリキュラムの特徴です。

第2の専門知識(副専攻)の修得 3分野を学ぶカリキュラムの特性をいかし、自分の専門分野(主専攻)以外の講義を履修することで第2の専門分野の知識を修得することができます。幅広い専門知識を得ることで、自身の研究を多角的視点から捉えるなど、挑戦的な研究も可能となります。

少人数教育 教員1人あたりの学生数は約10人。実習科目では1グループ6～8人で構成。少人数での学習環境は、机上の学理だけでなく、学んだ知識を学生一人ひとりが実験・実習を通じて体験的に理解を深め、実践力を身につけることに有効です。

インターンシップ 1・3年次は全学生が必修科目の「インターンシップ」を実施。実習先はトヨタ自動車・三菱電機・ダイキン工業など30社以上の製造・研究開発部門です。期間は1～1.5カ月。企業から提供される実習テーマを選び、課題に取り組む本格的な実習です。

また、企業派遣講師による講義・実習も多数。「トヨ



実学とコミュニケーションを重視したキャンパス。学生産方式概論」や「電機メーカーでの研究開発に必要とされる工学」など、産業界で取り組まれている技術開発の現状等を学ぶ機会が豊富に設置されています。

学部在学生の43%が海外留学経験* 学部4年間にわたり英語を学びます。通常の英語講義に加え、論文の書き方やプレゼンテーションを学ぶ講義、TOEFL®対策講座など実践的な英語力の修得にも力を入れています。また多額の費用補助のもと、実施される海外研修も充実しています。

*コロナ禍前の2019年度実績

卒業後の進路

就職指導 工学の幅広い知識と専門性を身につけ、体験的学習を通して、学んだ知識をモノづくりにいかすことを修得した学生の就職決定率は100%。大学院進学率は56%です（2022年3月卒業・修了生実績）。

主な就職先 トヨタ自動車、豊田自動織機、デンソー、アイシン、豊田合成、トヨタ車体、トヨタ紡織、ダイハツ工業、SUBARU、マツダ、スズキ、日産自動車、IHI、ヤマハ発動機、ダイキン工業、住友電気工業、NEC、村田製作所、三菱電機、日立製作所、SONY、キヤノン、京セラ、ニコン、オリンパス、資生堂、三菱マテリアル、NTTドコモ、日本エアコミューター、JR東海、中部電力ほか

入試GUIDE (2024年度入試)

学部一般選抜

一般選抜に「個別学力試験型」を新規導入

2024年度入試より、従来の「共通テスト利用型」に加えて「個別学力試験型」を新たに実施。

○試験科目は「数学、物理or化学、英語」の3科目

※詳細はホームページで適宜ご確認ください。

「推薦選抜(公募型)」

2023年の高校3年生・既卒1年目の方が受験対象

○試験日は2023年11月18日(土)

○出願資格に「英検CSEスコア」など必要

※詳細はホームページで適宜ご確認ください